

英語科

【研究主題】

様々な文化や考えをもつ人との関わりを通して、「新たな自分」を発見する生徒の育成

【研究副主題】

思いや考えを伝え合い、自己を見つめる学びの追究

公開授業

学級：2年4組 授業者：片山 志保



Learn the World Heritage Sites

～英語で世界遺産についての魅力に迫ろう～

2年生は、今年度の修学旅行で世界文化遺産「古都京都の文化財」と「姫路城」を訪れました。生徒たちはホンモノに触れ、多くの感動と学びを得ることができました。また、膨大な外国人観光客を目の当たりにして、世界遺産は多くの人々を惹きつける魅力があることを、強く実感したようです。

しかしながら、世界遺産は様々な問題や課題に直面しています。世界遺産を未来に引き継いでいくためには、若い世代の人々がその価値を本当の意味で理解することが求められているのです。世界中の人々と、それぞれの世界遺産の普遍的な価値を共有していくためには、英語によるコミュニケーションが欠かせないことは言うまでもありません。

「World Heritage Sites」は、2年生最後のユニットです。各生徒が興味を抱いた世界遺産について調査し、その魅力や課題について自分の考えを整理して伝えることを目標としています。また、その遺産の価値について、友人たちの意見を取り入れながら、自分の考えを英語で表現します。今回の授業では、英語で「話すこと」から「書くこと」へつなげる授業を提案させていただきます。

本校生徒が、英語でコミュニケーションを取ることを楽しさを存分に味わいながら、自分の意見を主張する姿を御覧いただきたいと考えています。

メタ認知との関わり

「話し手」と「聞き手」を一人一台端末で撮影し、その姿を客観的に「見る」ことで、メタ認知を働かせ、どのような話し方をすれば相手に伝わりやすくなるか、どんな聞き方をすれば話のポイントを押さえることができるか、気づきを促したいと思います。また、他者の意見を聞いたり、自分の意見を話したりすることで、自分の考えがどのように変容したかを発表させるとともに、各自の学習レベルに合わせて、自分の考えを書く活動へとつなげます。自分で学習を調整することで、「ここまでならできそうだ」「このレベルを達成させるためにもう少し頑張ろう」という気持ちを育むことをねらいとしています。

詳細はこちら

長崎大学教育学部附属中学校教育研究協議会

令和6年1月26日（金） 9:00 ～ 16:15

